

平成 26 年度 第 1 回萩市立図書館 協議会 議事録

平成 26 年 6 月 26 日 (木)

14:00~16:00

会場 萩市立萩図書館

出席者	協議会委員 8 名	三好健二委員・福田みのり委員・津田和夫委員・ 鎗分朋世委員・椿義憲委員・加藤可奈子委員・ 伊藤静枝委員・山根純子委員
	事務局 9 名	教 育 長 中村哲夫 萩 図 書 館 高木館長・江山副館長・ 植村館長補佐・蜂屋係長・村木 須佐図書館 河口主任 明木図書館 森岡主任司書 田万川中学校図書館 吉崎主任

1. 開会のことば (高木館長)

お暑い中 出席いただき、また、平素は図書館のために尽力いただき、感謝する。

須佐・明木図書館長交代ため挨拶を予定していたが、本日は皆、総合事務所長としての業務が入っており、残念ながら欠席。よろしくとの言伝。ご容赦いただきたい。

2. 教育長あいさつ

貴重な時間を割いての出席、感謝する。

図書館という組織が、市長部局に移っているが、法的には教育委員会の管轄となっているため、挨拶をさせていただく。

萩市は、大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台となるため、旧明倫小学校の体育館をドラマ館に、運動場を駐車場にする関係で、萩図書館の駐車場にも影響する。また、学校施設の耐震化を進めているが、明木小学校と明木中学校を併設し、明木図書館も老朽化しているため、建設を検討している。皆様の知恵を借りて、図書館を充実させるよう努力していきたい。

3. 三好会長あいさつ

任期の 2 年目となった。知と文化と交流の場としての図書館を保つためにも選書自由の堅持を今後ともお願いしたい。

植 村 補 佐 職員の異動を紹介。

議事進行はここから会長が行うこととなっている。

三好会長にお願いする。

会 長 議事を進行する。事務局からの説明を。

4. 議 事

1. 図書館年報（平成 25 年度）、各図書館の活動実績と今後の展望について

村 木	萩図書館の概要と活動の現況について説明
河口主任	須佐図書館の概要と活動の現況について説明
森岡主任司書	明木図書館の概要と活動の現況について説明
吉崎主任	田万川中学校図書館の概要と活動の現況について説明

2. 視聴覚資料収集方針及び選定基準について

村 木	「萩市立図書館視聴覚資料収集方針及び選定基準」の説明 視聴覚資料は当面、図書資料を補う資料という位置付けで購入予定
-----	--

3. 未登録者の利活用の促進について

村 木	未利用者（貸出カードを持っていても使っていない利用者、カードを作っていない利用者）の方に、図書館を利用していただけるように努力している。さらに利用者を増やすためのご意見をいただきたい。
-----	--

会 長	各館からの説明があったが、意見・質疑を承りたい。
委 員	未登録者は多い。ここに居ると利用者は多い気がするが。
江山副館長	本を借りた人の数、総利用者数は、延べ約 8 万人。それは約 8 千人の登録者がリピートして利用している。その割合から考えると、30 万人余りある延べ入館者数の 10 分の 1 に当たる約 3 万人が図書館を利用している可能性があると考えられる。

委 員	萩市の小学生は 2,100 人、中学生が 1,100 人くらい。小学校の登録が約 1,400 人を見ると、登録率は良いように見える。 移動図書館の利用も含まれているのか。
-----	--

江山副館長	移動図書館も含まれる。移動図書館が巡回していないのは、明倫小学校と島嶼のみ。他は保育園・小学校で移動図書館を利用しているため、登録済み。小学生の未登録のほとんどは明倫小学校だと考えられる。
-------	--

委 員	本を借りる以外のこと、勉強や、新聞・雑誌などを見に来る人は多い気がする。利用を呼びかけるのは個々のことで難しいが、ドラマの関連本などを薦めてみるという協力はできると思う。
-----	---

委 員	視聴覚資料が萩図書館にあるということを知っている人がどの程度いるか。知っている人はどのくらいいるのか、図書館に来ない理由を調査してみてもいい。
-----	---

委 員	書店やレンタルショップなどで、中高年は見かけるが、学生をあまり見かけない気がする。その年代が視聴したいものが何なのかを知ることが必要。
-----	---

江山副館長	若い年代はインターネットを使っている。ネット配信などの環境が整っている。最新のものを取り揃えるような図書館ではないので、若い人をターゲットにするのは難しいと思う。高齢の方へターゲットを絞るほうがよいかも。
-------	--

委 員	高齢者はパソコンの利用はあまりしないのでは。
-----	------------------------

委 員	50 代後半の人と話したが、パソコンは利用しないと聞いていた。 60 代はもっと少ないだろう。
-----	--

- 江山副館長 萩図書館では、カセットテープの利用が多い。高齢者の利用が多い。
委 員 読み聞かせなど子ども向けの催しはよく見る。まずは図書館に足を運んで
もらうために、先日の演奏会のような催しをやったら良いのでは。
旧図書館にあった朗読CDは今もあるのか。
- 江山副館長 ある。音楽はネット配信されるので、むしろ、文学作品などの朗読CDを
委 員 中心に購入している。ぜひ、ご利用いただきたい。
- 委 員 利用者の立場から言うと、本が好きで図書館をよく利用しているが、視力が
悪くなってから遠ざかっていた。大活字本を知ってから、読書の喜びを
再認識した。高齢になることを考えると家から図書館まで距離があり、
通えなくなる。移動図書館を利用したい。移動図書館の充実をお願いしたい。
- 委 員 高校生の利用者数が少ない。実際には高校生は勉強しに来る子が多い。
本には見向きをしない。彼らがいかに本を借りたくなるのか。何を讀んだら
よいのかわからない子が多い。学生はノベライズなどをよく買っていく。
そのジャンル以外は興味を持たない。本に興味を持たせる方法を考えて
いかなければならない。
- 委 員 以前、毎日新聞で見たが、読書調査で、学校では自分で調べて学ぶ、読み聞
かせをしてもらって育った世代、そのため読書率が上がってきているという
統計が載っていた。実態はどうなのだろうか。
- 委 員 児童クラブの指導員をしているが、読書週間になると子どもたちが競い合っ
て本を借りている。内容は別にして、数をこなすのに懸命。読書週間は良い
とも言いがたい。
- 委 員 本は好きだが、働いていると読む時間がない。働いている世代の利用はどう
なのか。働いている人に利用しやすい、萩図書館の開館時間延長はありがた
い。続けて欲しい。学生は、大学図書館でも特定のものしか利用しない。
大学にはあまり揃えていない小説などは、市の図書館を紹介すると、興味
のある学生は萩図書館を利用することもある。若者の活字離れは感じる。
調べ物などもスマートフォンを利用している。大学図書館でも課題。
山陽小野田市の山口東京理科大学で、新生者が市のいろいろな施設を回ると
いうオリエンテーションをやっている。その中で図書館にも足を運んでい
ると聞く。せっかく、県内外から学生が来ているので、萩市内をオリエンテ
ーションで回り、まずは図書館を知ってもらうことが必要。行事などで図書館
見学を入れての働きかけも効果的では。
- 委 員 外国人留学生はどのくらいいるのか。
委 員 萩への留学生は少ない。10人前後。日本の文化など、いろいろなことに
興味を持っており、大学図書館はよく利用している。
- 委 員 視聴覚資料の選定基準に、誰が、どうやって選定するかを明記すべきでは。
高木館長 規定により月例で館長が召集し、選書会議を行っている。江山副館長が主査
となり、司書とNPO司書とで選書し、追認している。要望やクレームの
整理の意味もある。これまでは、視聴覚資料は図書館資料の選定基準に含ん
で選定してきたが、時代の移り変わりにより、紙資料と音資料、映像資料が
確たる地位を占めて推移する形になった。以前、予算の配分はどうかとの
質問があった。当館は紙資料を中心に収集する方針。長門市では視聴覚資料
を多く収集しているが、歴史資料、郷土資料は当館のほうが多い。総予算に

対する配分のことになる。視聴覚資料が遅れを取っているが、考えてはいるということを選書委員に示唆する意味もある。郷土資料は高価格。購入が落ち着く目安が付いた時点で、視聴覚資料を増強する。内部で確認しあうためだが、協議会委員には知って欲しいと思い配布した。選書方針そのものが基準。ご意見のとおり、明記は必要。

会 長 議題は以上。次に報告の1から4について、説明をお願いする。
植村補佐 プロジェクターを使用する関係で、順番を変更する。まずは明木図書館から。

5. 報 告

1. 明木図書館新築移転状況の報告

森岡主任司書 明木小学校・旭中学校が、耐震化のため建て替えとなる。それに伴い、明木図書館・児童クラブも学校に併設。平成27年4月新校舎着工、平成28年2月完成予定。3月移転、4月開館の予定。

2. 須佐図書館豪雨災害状況の報告

河 口 主 任 閲覧室等館内フロアの一部浸水、移動図書館「まなぼう号」の車両水没(90cm)、資料の水損551点等の被害が発生し、約1ヶ月の全面休館、10週間に渡る巡回停止となった。

3. 萩図書館前の市道拡幅に伴う図書館駐車場工事について

植村補佐 図書館前の市道が拡幅され、図書館の駐車台数が減少するが、旧明倫小学校グラウンドに駐車場が整備され、図書館利用者も駐車できるとの説明

4. 『萩藩主要役職者年表』『萩のまち文学散歩』の紹介

江山副館長 昨年度作成した『萩藩主要役職者年表』『萩のまち文学散歩』を説明ケーブルTVが作成した『萩のまち文学散歩』を紹介した番組を視聴

会 長 以上、事務局から4件報告があったが、質問等承りたい。
前回の協議会で田万川中学校図書館の見学の中で、地域で学校の運営・教育をサポートすると聞き、良いことだと感心した。学校と図書館と地域のコミュニティというコンセプトとのこと。新しくできる明木図書館はどのようなコンセプトを考えているのか。

森岡主任司書 田万川中学校は学校の図書室を地域解放している形。現存する中で村立図書館としては日本最古の図書館である「明木図書館」の名前を残して欲しいという、地元住民からの強い要望で、明木は学校図書室として学校の中に組み込むのではなく、小・中学校に併設という形で明木図書館として継続していく。

委 員 地域との協同は現在もやっているが、今後も継続していきたい。
須佐図書館は大きな被害はなかったと。前回見学したときの玄関とは反対側の奥が浸かったのか。

河 口 主 任 一番大事な図書館資料は、移動図書館車の積載資料は一部水に浸かったが、館内資料はすべて無事だった。

- 委員 萩図書館の前の拡幅工事をやると、駐車場は狭くなるのか。
第3駐車場を利用することになるのか。
- 植村補佐 図書館前は狭くなる。今は図書館前の駐車場が満車の場合、迂回して
第3駐車場に行かなければならないが、拡幅後は、図書館の向かい側から
明倫の駐車場へ入り、近い場所に図書館専用駐車場を用意するため、利便性
は良くなる。
- 委員 一方通行はどうなるのか。
- 植村補佐 拡幅工事後は図書館までは一方通行が解除されるため、どちら側へも出る
ことができる。図書館から先は一方通行のまま。利用者には迷惑をかけるが、
工事期間は7月下旬から12月まで。
- 委員 図書館側の3~4本の木があるが、それは無くなるのか。
- 植村補佐 はい。
- 会長 他に質問等が無ければ、1から4の報告については審議を終える。

6. その他

1. NPOとの協働について

- 江山副館長 説明 ※はぎ時事新聞の記事を受けて
- 委員 読み聞かせ等は児童館で？児童館の管理はどこがしているのか。
- 江山副館長 会場は児童館の中の子ども図書館で行っているが、行事はNPOの会員が
行っている。児童館の中にわくわく子ども図書館だけは図書館の管理だが、
その他の部分については、萩子どもセンターが委託され運営している。

2. 前回の田万川中学校図書館、須佐図書館の視察の感想

- 会長 前回参加された委員に感想を伺いたい。
- 委員 田万川中学校図書館は子どもたちの利用の様子が見られる時間帯では
なかったのが残念。地域に根差したコミュニティーというコンセプト、
良い物ができていると感じた。須佐図書館は初めて。広域合併したが、
萩地域から遠い地域にきちんと図書館があるというのは良い。
24時間開館ということで、心配していたが、防犯など工夫されている。
どちらの図書館も地域の方が利用しやすいと感じた。
- 委員 田万川中学校は、今回じっくりと見せてもらった。地域の方が利用しやすい
よう配置されていると感じた。須佐図書館24時間システムの説明を聞き、
具体的な仕組みがよくわかった。子どもコーナーなど工夫があった。
狭いからこそ見やすい。返却は萩図書館でもできるので便利。
- 委員 田万川中学校図書館は明るくきれい。
須佐図書館は24時間利用でき、助かっている。
- 会長 今までの議題、報告等について質問・意見はないか。
なければ以上で議事を終了する。
- 植村補佐 任期が2年となっているので、次回も願います。次回は明木で開催する。

7. 閉会のことば

江山副館長 通常国会において、学校図書館の改善向上を図るために学校司書の配置に努めなければならないという法律案が可決されたことを報告する。

また、明木図書館新築の話があるが、他にも山陽小野田市立厚狭図書館、新南陽図書館、周南の徳山駅ビル内に新たな図書館建設と、県内で図書館の建設ラッシュ。

先日の新聞で、宇部市立図書館が当館と同様に市とNPOとの協働運営を目指すという報道があった。

萩図書館で8月28日に講演会を予定している。後日改めて案内を出す。

長時間にわたる協議、感謝する。